

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	122	豊田市立 小原中 学校	代表	長嶋 英子
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テ マ	地域から未来へ	分野	b	地域連携
	サブテーマ ふるさと学習を通して主体的に行動する生徒の育成	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと学習」の小原和紙学習、四季桜の育苗、学校祭のアトラクション発表等、地域の方の協力を得て、文化や歴史の学習に積極的に取り組み、地域を愛する生徒を育てる。 ・生徒の健全育成に努める。 ・教育環境の整備を重視する。 ・ICT活用力の向上を目指す。 ・学校だよりやホームページ等により情報発信に努め、家庭や地域の理解と協力を得ながら生徒の健全な育成を進めていく。 			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師による和楽器の学習 ・学校祭アトラクション発表 ・ICT機器の活用（活動計画） ・四季桜の挿し木（総合的な学習で実施）…1年生 地域講師を招いて、挿し木を行う。 ・小原和紙学習（総合的な学習で実施） <ul style="list-style-type: none"> 1年生 和紙を中心とした地域の魅力探究学習を中心に40時間 2年生 和紙制作を中心に28時間 3年生 和紙を用いた地域の魅力発信を中心に28時間 ・漆芸家講話…全学年 漆芸家を招いて、全校生徒で聴講する。 ・和楽器学習…1年生 地域講師を招いて、音楽の時間に箏（琴）の学習を4時間行う。 ・陶芸学習…1年生 地域講師を招いて、美術の時間に陶芸の学習を4時間行う。 ・学校祭アトラクション発表…地域の文化と連携した企画を立ち上げ、学校祭で発表・体験を行う。 ・ICT機器の活用…1年生の郷土学習、2年生職場体験のまとめをパワーポイントで発表する。 ・「桜ライン311」…小原四季桜の苗木を寄附する。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員 年384時間 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師から和紙制作、挿し木、箏の演奏の技術だけでなく、地域への思いを学ぶことができる。 ・校内整備員の整備活動で、整った環境で学校生活を送ることができるようになる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと学習」に取り組む意欲 ・授業参観での地域や保護者の方の感想や評価 ・校内整備員の整備場所の記録 			